



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.173 2016年9月9日発行

九州支部長

残暑お見舞い申し上げます。
今年の暑さは特別でしたね。長い期間雨も降らず庭の植物も悲鳴を上げていました。
9月に入り未だに暑さは残っていますが、ようやく朝夕は秋めいてきました。台風10号は北海道、東北地方に深刻な被害をもたらしました。被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

サーバス九州支部会報173号(2016年9月号)をお届けします。ファイルが開かない場合はお知らせください。

掲載している内容は以下の通りです。

1. サーバス九州秋例会－佐賀－ご案内
2. 熊本のM. S. さんを訪ねて
3. シリーズ世界一周の旅 トルコ編
4. トラベラー受け入れ報告
5. サーバス九州のお知らせとお願い
6. サーバス九州現況(2016年9月9日現在)と会員情報
7. サーバス九州連絡先(常掲)

1. サーバス九州秋例会－佐賀－のご案内

毎年恒例の秋の例会を、今年は佐賀県で行います。佐賀の会員の方たちがいろいろ計画をたててくださっています。

当日佐賀市では世界バルーン大会も開催されます。(10/28～11/6)
宿泊場所の武雄市は温泉や宇宙科学館で有名な所です。

※ バルーンフェスタ

150機あまりのカラフルな気球が秋の空を埋め尽くす光景は何とも言えません。毎年80万人から100万人を超える人出があり、海外からも大勢つめかけます。

今では佐賀の秋の風物詩の一つです。晴れていても風が強いと飛びません。いいお天気でありますようにのります。

※ 武雄温泉

開湯は1,300年前。歴史ある温泉で、古くは神功皇后も入浴されたと伝えられています。透明で柔らかな湯ざわりが特徴です。

記

日時： 2016年10月29日(土)～30日(日)

宿泊場所： 武雄温泉ハイツ

佐賀県武雄市武雄町大字永島18091

電話 0954-23-3151

日程： 10月29日(土)

集合時間 PM 1時 武雄温泉ハイツ

近くの名所を訪れ、4時か4時半ごろハイツに戻る

(個人でバルーンを見てからハイツに来られてもいいです。その場合はお知らせください)

夕食・交流会 18:30~21:00

サーバス活動やお互いの近況などを話し合い、楽しいひと時を過ごしましょう。

10月30日(日)

起床・朝食・周辺散策等

ハイツ出発 (ホテルのバスで武雄温泉駅へ行き、バルーン会場行き臨時列車に乗る)

バルーン会場へ (雨天の場合は予定を変更して名所巡り)

解散： 12時半~13時

費用： 1泊 2食 12,000円

申込締め切り： 2016年9月30日

申し込み： 参加希望者は以下の1~4項目を電子メール、郵便、電話で佐賀市のY. A.さん、または支部長にご連絡ください。

1. お名前
2. 人数
3. 宿泊の有無
4. 交通手段

申し込み後の変更にも対応しますので、出来るだけ早く意向をお知らせください。たくさん参加をお待ちしています。

2. 熊本のM. S.さんを訪ねて

2016/8/19~8/21

福岡 T. Y. 会員

熊本で一番被害の大きかったサーバス会員のMさんのお宅に、震災後の手伝いに夫と行ってきました。ここ1カ月はこちら北九州の隣町水巻町では雨を見ていませんでしたが、高速の益城熊本空港辺りですごい土砂降りに見舞われました。一瞬雨具の用意をしてこなかったことを後悔しましたが、村山さんの周辺では雨は全く降っていませんでした。

夕方4時半ごろ到着しました。お家はまだ倒壊したままでしたが近々解体業者さんが入る予定だそうです。Mさんの近くでは全壊した家を見ませんでした。向かいの家は2階が潰れていました。手伝いに来られた甥っ子さんが、‘ここは忘れられた町(富合町)です。益城町や西原村、南阿蘇村はマスコミでもよく取り上げられているけど’とおっしゃっていました。

その日は倒壊家屋の裏側を通れるようにするために、塞いでいた木を切ったり、長く伸びた草を刈ったりして道をつくりました。また甥っ子さんが家屋の2階部分のガラスを割って中に入り、たくさんの段ボールやバッグや袋を外に出しました。その中の一つのバッグには思い出の写真がいっぱい入っていました。取り出すことができて本当によかったです。

夕食は近くの食堂へ行ったのですが、そこでMさんの知り合いの瓦屋さん、地盤屋さんが食事をされていて、私たちも一緒に加わりました。地震当日のことをいろいろ話をしてくださいました。倒壊家屋が1万軒以上あるけれども瓦屋さんは250人しかいないそうです。そのためなかなか修理が行き渡らず4カ月たってもあちこち屋根が青いビニールで覆われたままです。

食事が終わって支払いの時お店の人に、‘もう支払いは終わっていますよ’と言われてびっくりしました。先ほどの瓦屋さんと地盤屋さんが支払ってくださったそうです。’熊本県民としてお礼の気

持ちでお支払いくださったようでした。(ご馳走さまでした。)

次の日は道を作る続き、ゴミを焼いたり、ガラスの破片を集めたりし、午後はMさんの友達が熊本城、益城町の現状を案内してくださり、熊本日日新聞社主催の『恐怖の夜から復興に向けて』と題した緊急企画展にも足を運びました。

益城町を通った時は青いビニールの屋根の数がすごく多かったですし、新聞テレビで見るような倒壊したままの家があちこちにあり、まだまだ復興への道のりは長いと感じました。

もう少し早い時期にお伺いする気持ちもありましたが、かえってご迷惑かも知れないとか、辛く悲しい時を過ごされている時とかいろいろ思い伺えませんでした。でもお会いして、もっと早く伺えば良かったと思いました。長く居れなくても、大してお手伝いできなくても一緒に時を過ごすという事でよかったのではないかなと思いました。

Mさんは元気に後片付けをされていました。物はほとんど家屋の下で取り出すことができず本当にお気の毒に思いました。私たちが行った少し前にはサーバス九州の男性会員さん2名が泊まり込みでお手伝いに行ってくださいていますし、県内の会員さんが時々手伝いに行ってくださいています。また東京のサーバス会員さんのお知り合いの方が立ち寄ってくださいして色々お手伝いしてくださいました。村山さんは本当に助かりましたと感謝されていました。

まだまだ先が長いです。無理をせず体に気を付け前に向かって歩いて行って頂きたいと思いました。

M. S. さんから

この度の地震では、たくさんのご寄付を頂きありがとうございます。未だに皆様にお礼が言えず大変失礼しています事をお許してください。頂きましたご寄付でパソコンや身の回りの物を買わせて頂き大変ありがたく思っています。この辛い経験を通して人の優しさをいっぱい知りました。私は目の前の事を少しずつ、少しずつやっています。

ありがとうございました。

3. シリーズ世界一周の旅

～トルコ・いきなりおじさんに騙される編～

熊本 T. A. 会員

カイロから飛行機で移動し、イスタンブールに到着。空港からは列車→トラムに乗り換え、ブルーモスク前で下車した。街は結構な人並みで、歩いていたら友人がいつの間にか知らないおじさんと話している。彼は空港から私達の様子を見ていて、困っているようなので何かお手伝いできないかと思って声を掛けたという。私が気づいた時には、すでに私達のことを友人がいろいろ話していて、すでに今日の宿泊先がまだ決まっていない事が彼に伝わっていた。すると、彼は週末にサッカーの試合があるので、どこもホテルは満杯と言い、自分の知っているホテルを紹介するという事になった。いつの間にか、友人の荷物も運んでくれたりしているし……。どうなんだろう・・・と思いながらも、とりあえず付いていく(友人はなんの疑問も感じていないようで、そのおじさんと楽しそうに会話していた)。で、案内された場所はシングルベッドが2つある狭い部屋。一泊2人で6,000円というが、いままで2人で3,000円くらいのところに泊まっていたので安いとは思えなかった。

しかし、友人はココまで案内してもらったことが申し訳ないようで、やや疑問にも思ったがココに泊まることになった。その後、そのおじさんがトルコ語で通訳するからと旅行会社に案内される。途中、いくつかの旅行会社がありココではだめなのだろうかと思いながらも付いていく。で、おじさんが案内した旅行会社で、おじさんの通訳により15分くらいでプランが出来た。内容は、3泊4日イスタンブールで過ごしたあとにカッパドキアへ公的なバスで移動し、カッパドキアの洞窟ホテルに2泊して、北と南のカッパドキアの遺跡を2日に分けて見学、その後パムッカレにバスで移動してパムッカレを見学後その日の夕方にクシャダシという港のある町に移動しそこに2泊、4つ★のホテルに宿泊。翌日に市内の観光をして翌日は1日自由という内容だった。内容的には問題ない様子。値段

は745ユーロ。日本円で8万以上だった。現金がないのでクレジットカードで支払うことになった。

ツアーの詳しいチケットは19時に旅行会社に取りに行くことになり、ホテルまで送ってもらってからおじさんと別れた。旅行会社へは自分たちで行けるといったが、おじさんは時間になったら自分も旅行会社に来るといふ。そこまでしてくれなくていいけども思ったがそう言うので来てもらうことになった。ホテルで荷物整理などしたあと、19時近くになったので旅行会社に向かう。表通りを通って旅行会社に向かっていると途中でおじさんに会った。私たちが来る前に旅行会社に行ってチケットを取ってきたとのこと。もう旅行会社は閉まったという。チケットを渡されたあと、食事に誘われたがそこは丁寧に断りし、友人と二人で食事にいった。

その後ホテルでネットを見ていると、結構安い宿泊先が沢山あることを発見。それで、明日からカッパドキアに行くことにしてホテルをキャンセルすることにし、そのことをフロントに伝えた。フロントのおじさんにそのことを伝えると明日問題なくできるという。今はオーナーがいないので明日おばさんが来たら相談するように言われた。

その後部屋に戻って寛いでいると部屋にかのおじさんから電話が掛かってきた。取ったとき相手が誰か分からずにいると夕方に会ったおじさんだといふ。なぜホテルに電話が掛かってくるのだろうと疑問に感じた。何か問題はないかと聞いたあとに、ホテルをキャンセルするのかという話になった。なぜ彼がそのことを知っているのだろうかと思いつつ、他にいいホテルがあったのでキャンセルすることを伝えた。このホテルが気に入らないのかと聞かれたので「気に入らない」と答えた。

その後、シャワーから上がってきた友人に電話の件を伝える。なぜわざわざホテルに電話をかけたのか？しかもなぜホテルをキャンセルすることを知っているのか？このおじさんの行動に疑問を感じた。

また、簡単に私たちの部屋におじさんの電話を通したフロントの無責任さに腹が立って、抗議をしに行く。そもそもこの部屋の大きさ、設備で6,000円という値段に疑問を感じていたのだから、ホテルの値段やなぜ私たちの部屋におじさんから電話が直接掛かってくるのかを問い合わせた。しかし、フロントはホテルの値段を聞いてもはっきり答えない。一泊の値段は分かっているはずなのになぜ答えることが出来ないのか？さらに疑問が深まる。この時点で完全にこのホテルと私たちを案内したおじさんはグルで私たちを騙していると感じた。

フロントにおじさんからの電話を繋いだ理由を聞くと私たちと一緒にいたので私たちの友達だと思っただけと言いつつ。しかし、私たちがフロントにいた時は別のおばさんが対応していて、今のフロントのおじさんはいなかったはず。なぜおじさんと私たちが友達と思えるのか？？そういったことを問いただしていると、このホテルに一ヶ月くらい滞在しているという英語が話せる別のおじさんが間を取り持ってくれた。私が、フロントが勝手に私たちが今日知り合ったばかりの知らない人の電話を部屋に繋げた、そのおじさんは友人にいろいろと言いつつ寄っているのだからこのホテルから離れたかったなどと伝えた。話を聞いてくれたおじさんは私たちに同情的だったが、しかしなぜそんな知らない人に付いていったのかと問われた。私は「そのおじさんがホテルはどこも満員で他にホテルがないと言ったから」と彼に伝えたが、いまいち説得力がないことを自分でも感じた・・・。

結局、翌日オーナーのおばさんが来てからホテルをキャンセルすることを相談することになった。いろいろと腹立たしいがとにかくこのホテルから出ることが先決である。友人には明日は自分が交渉するから私が前にでて怒りださないようにと釘を打たれた。(なぜなら私がかかなり本気で怒りを露にしていたから・・・)。しかし、そもそもこの状態を作った本人は友人であったのだが・・・)

翌日、ホテルをキャンセルして近くのバックパッカーのホテルへ移動した。そこで昨日組んだ旅行プランについて話をすると、その内容は高いと言われ、ココだったら5万くらいでプランが組めると言われた。そこで昨日の旅行会社に行ってプランをキャンセルすることにした。しかし、旅行会社に行くとき、自分は交渉人に言われたままプランを作っただけ、その交渉人がいないとプランはキャンセルできないという。自分たちがサインをして支払いをしたのにどうして仲立ちの人を呼んでその人と

話をしないとイケないのかと聞くが、自分たちは言われた通りにツアーを組んだだけといわれる。彼はエージェントではなくただ私たちの通訳をしてくれただけと説明してもなぜかだめとの事。この時点でなんだか彼とこのツアー会社がグルであるような気がしてきた。

結局彼に連絡を取ってもらい、15時に彼が旅行会社まで来るのでそこで話し合うことになった。15時に旅行会社へ。怒っている態度で彼（おじさん）に対応した。旅行料金が通常よりも高いことを聞くと彼はあくまでも親切で私たちをココに連れてきてクオリティーの高い内容にしたため高くなったという。私は午前中に旅行会社と話をして彼にもお金が渡っていることを知っていたのでそのことも言ってみたが、もらっていないと言張る。しかも今キャンセルしたら40%の料金は返ってこないという。そんな説明を受けてないと言ったが、結局領収書の裏にその説明が書かれていて、旅行のキャンセルは不可能とわかり、納得できないままに旅行会社を後にすることにした。

本当に災難だった。イスタンブールに到着して、ものの数時間でいろいろと騙されてしまうなんて……。結局、少し高い買い物になってしまったが、旅行の教訓として今後気をつける勉強代とすることにした……。きっと、交渉が面倒くさいエジプトから近代的なトルコに来て、気が緩んでいたのだろうと思う。また最初に、知らない人の案内でホテルを決めることになったとき、おかしいと感じたのに友人を止めることが出来なかった自分も悪かったと反省した……。

4. トラベラー受け入れ報告

1) フランス・カナダ・イタリア・インドからのトラベラー受け入れ

長崎 A. A. 会員

ずっと入りたかったサーバスに昨年息子が米国、コロラド旅行するために入り、3家族お世話になり、今年は末娘が韓国、釜山でやはり3家族の所にお世話になりました。私はまだどこへも行っていませんが、春の例会の後例会に参加されたフランス、レユニオンからのMさんがそのまま2泊(4/9-11)、カナダ、トロントから来られたN & Sさんご夫妻(6/8-11:この方々はホテルに泊まって市内観光だけお付き合いしました。)、イタリアのTさん4泊(7/24-28)、インドからRさんが2泊(8/8-10)と、とても国際的な日々を過ごさせて頂きました。

Mさんはあまりアクセントもなく、スムーズに交流出来ました。チョコレートが好きかと聞かれたので、あまりそのままは食べないと正直に答えたら困ったお顔をされ、しまった! と思いましたが、お土産のチョコレートですごくおいしいムースを作ってくれました。(正直に答えてよかったあ) あっという間の時間でした。

カナダから来られたご夫婦はとても博識で、単語力のない私は少々苦労しましたが、長崎の歴史にも詳しく色々な事を御存じだったので嬉しかったです。長崎市内のもう一人の会員W.M.さんにも1日お願いして、その日は他の用事をしたりと協力しました。またこの事をきっかけに後日W.M.さんにもお会いして楽しい一時を過ごしました。

イタリアのTさんは可愛らしい人でまた頑固な所もあり面白かったです。ただ、アクセントが強く、懸命に聞き耳を立てていたのですぐ少々疲れしました。8月に来られたインドのRさんのアクセントはもっとうすく半分分かったかもわかりません。特に何処にも行



きたい感じがなく9日の原水禁大会か平和祈念式典に出たくて来られていたので、原水禁大会に出席されるOさんに原爆資料館の見学とそちらへのお世話をお願いして、私は稲佐山にお昼と夜とお連れただけでした。サーバスと言う組織はやっぱり素敵だと思いました。

短いですが、以下は娘（S）の韓国旅行への感想です。

A. S. さん

友達と二人、卒業旅行で釜山に1週間行き、3家族のサーバス会員にお世話になりました。辛い物が苦手な私でも1週間ちゃんと生きることが出来ました。皆さんで私たちが楽しむことが出来るように色々考えて下さったので、とても楽しい旅行になりました。お買い物と食べる事を目的の旅行でしたが、Cさんが色々な所へ連れて行って下さって、韓国の文化も知ることが出来ました。街中にあったホットクがとても美味しかったです。また近いうちにぜひ行きたいです。



2) 台湾ファミリーのホームステイ

佐賀 H. S. 会員

Mさん(42)と彼女の母親(72)、男の子(6才 S 4才 K)を7月21日から23日までうけいれました。早朝フェリーから北九州についたと電話があり、午後だろうと読んでいたのでビックリポンでした。家に着いたらお子たちが履物をそろえてありがとうございました。ペアの服と眼鏡でかわいかったです。

昼はざるうどんを作りましたが、お子たちがおいしいと言ってくれたのでホッ。フェリーの中ではお子たちもよく眠れなかったということだったので、夕方まで休んでいただきました。

何か見たいところや行きたいところは？と尋ねたら以前夫婦で旅行した時は目的があったけど、今回は子供たちのペースに合わせて動いているということでした。

普段、お子たちはウィークデイは父方の祖父母とすごし、ウィークエンドに両親とすごすという生活だということです。Mさん親子は台北、父方の祖父母は別の町、父親は祖父母の町よりはなれたところに眼鏡店をしているとのことでした。

翌日(22日)は有田のポーセリンパークに行きたいと言われたので、まき寿司 もどきをつくっていききました。パークの展示館をみて藤棚の下でランチタイムでした。そのとき遊具でKがおでこを打ち、それからずっとパッチを貼っての旅でした。怪我は大事にいたらずよかったです。帰りに、武雄温泉に入ってかえりました。

夕食は、主人が釣りで釣ってきた鯛の塩焼きを出したら、お母さんが「新鮮で美味しいですね」と何度もいわれました。意外にも、Kが、自分で骨ごとたべて上手に骨を出すのに感心しました。私の食べ方より上手でした。Kは魚大好きとのこと、私の、多分残されるだろうという予想はずれうれしかったです。

夜は県庁展望ホールに佐賀の歴史や文化をプロジェクションマッピングで現すショーがあつたので観に行きました。佐賀の夜空に吉野ヶ里からバルーンまで幻想的でした。

23日は午前中佐賀城本丸歴史館につれていききました。

午後、次のステイ先に向かうよう駅までおくりました。

Mさんが次のステイ先が佐賀大学の先生の家で、26日に大学でプレゼンをするということでした。当日、私とYさん、そして、Mさんファミリー、Sさん、彼女の同僚の外国人2人とランチを頂き、そのあとのプレゼンに参加しました。台湾の観光地やサーバスのことをうまく説明してくれました。近いうちに再会できたらいいなと思います。

5. サーバス九州会員情報

- 新入会員紹介
K. M. さん 佐賀市在住
- 九州支部会員数：54 家族（福岡 14 名，佐賀 5 名，長崎 10 名，熊本 5 名，大分 13 名
宮崎 6 名、鹿児島 1 名）

6. サーバス九州からのお知らせと 2016 年度会費納入のお願い

1) ホストリスト

電子版ホストリスト（pdf ファイル）がご入り用の方はお知らせください。

2) レポート

サーバス旅行をされたり、トラベラーをお受けになった場合はその時の様子をぜひレポートにてお送りくださるようお願いいたします。次回会報に掲載させていただきます。

3) 2016 年度の会費納入お願い

サーバスの会費は 1 月にその年度分の会費（3,000 円）を納入していただくことになっています。2016 年度をまだ納めてない方は会計から納入お願いの手紙が届いたと思います。よろしくお願ひします。